図書館だより　第1号　2017年4月12日　川俣高校図書館

新入生のみなさん、
入学おめでとうございます！
２、３年生のみなさん、
進級おめでとうございます！

図書館担当の先生



今年は、以下の２名で図書館を担当します。
気軽に声をかけてください。

石川　千穂（音楽／職員室ｏｒ音楽準備室にいます）

山田　有華（学校司書／図書館ｏｒ司書室にいます）

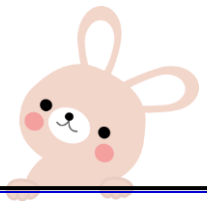
開館時間が変更になります

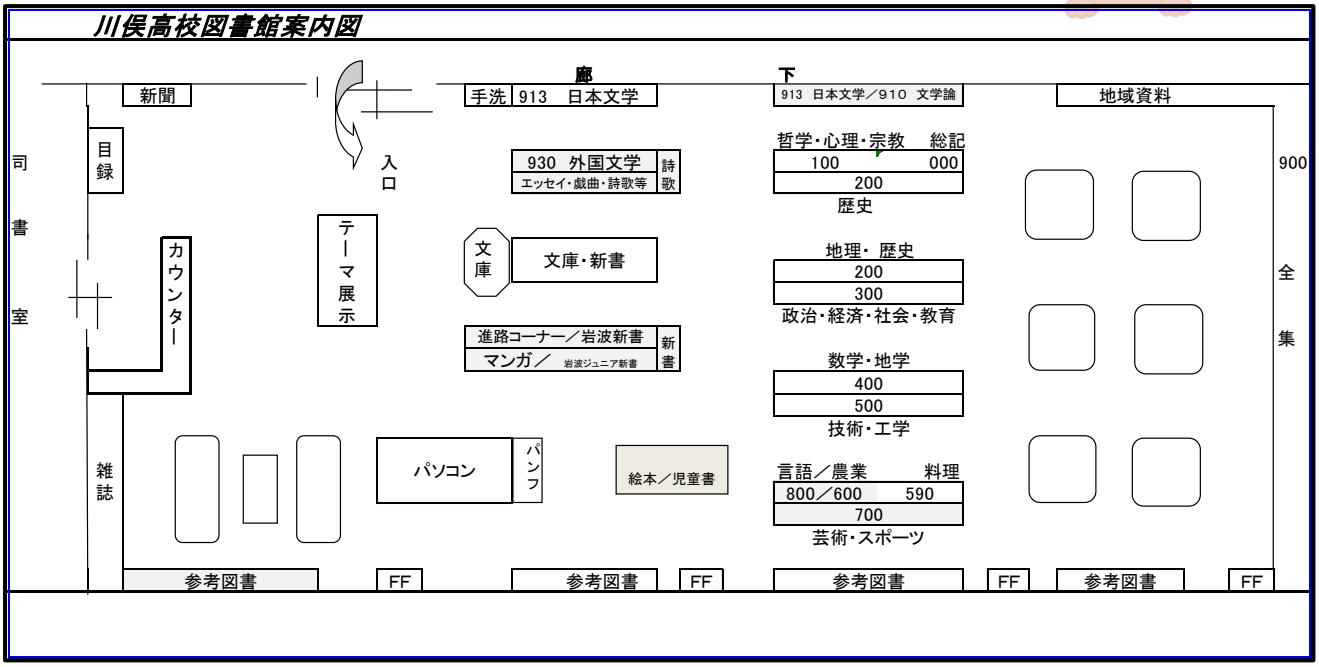
図書館の開館時間：平日　８：４０～１７：００
（木曜日：１２：４０～１３：２０／昼休みのみ　開館）
＊臨時休館・臨時開館する場合もあります。
そのときは図書館の入口に案内を貼っておきます。

川俣高校図書館について

蔵書数　24862 冊（平成 29 年３月 31 日現在）
新聞　５紙…読売、民報、民友、朝日、毎日、高校生新聞
※民報、民友、毎日、朝日は １ 日遅れで入ります。高校生新聞は月刊です。
購入雑誌　13 誌（学校図書館、健康教室、オレンジページ、新聞ダイジェスト、日経エンタテイメント、シティ情報ふくしま、ダ・ヴィンチ、Number、Newton、セブンティーン、MOE、MOTOR MAGAZINE、Ｋａｔｕｋｕｒａ）
※３か月に１度、雑誌のバックナンバーを希望者に配布します。５月に１回目の配布予定。

図書館の棚の配置が変わりました





灰色がかかっているところが、大きく変わったところです。

それ以外にも変わっているところがあるので、探している本が見つからないときには司書に聞いてください。

＊１年生は４月か５月に図書館オリエンテーションがあります。その時に図書館の詳しい使い方を説明します。その前に図書館に来てもらってもＯＫ！貸し出しも可能です。

新しい新聞が入りました



・民友新聞　・毎日新聞

（両紙とも１日遅れで図書館に届きます）

図書館に主要新聞５紙がそろいました。

バックナンバーはすべて３カ月保存しています。

雑誌のバックナンバー配布について

図書館所蔵の雑誌の保存期限がきれたバックナンバーをお譲りします。下記の日時に先着順で配布しますので、欲しい人は図書館に来てください。



日時：５月１０日（水）

昼休み（１３：００から）放課後（１５：３０から）



新刊コーナー

３月に購入した本を紹介します。
年度末なので、購入冊数が少ないですが、４月からどんどん増えていきます！

書名	著者名	出版社	請求記号
ノーゲーム・ノーライフ プラクティカル・ウォーゲーム	榎宮祐	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	913K
ＢＩＳビブリオバトル部２ 幽霊なんて怖くない	山本弘	東京創元社	913Y
わたしの恋人	藤野恵美	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	913F
ぼくの嘘	藤野恵美	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	913F

おすすめ新刊紹介

昨年度購入した図書の中で、おすすめしていなかった本を紹介します。
まだまだ新しい本です。１年生もぜひ借りてください！



「となりのイスラム
；世界の３人に１人がイスラム教徒になる時代」
内藤正典／著　ミシマ社（１６７／Ｎ）

最近のニュースを見ていると『イスラムは怖い』と感じがちですが、ではイスラム教徒ってどんな人？　どんな教え？　と聞かれるとよくわかりません。わからないまま怖がっていちゃ失礼だよね、ということで購入した１冊。一夫多妻制などの日常的な話題から、イスラム国がなぜ生まれたかといった世界情勢の見方、「テロを本当になくすために必要なこと」などわかりやすく書いてあります。



「すぐに役立つ３６６日記念日事典」創元社（３８６／Ｋ）

公的な記念日、伝統的な記念日から食・健康・ファッション・趣味・交通など業界・企業が提唱する記念日まで、あらゆる記念日の由来とエピソードを網羅。毎日なにかしらの記念日なのでいつ開いても楽しめます。今日が何の日なのか調べるもよし、自分の誕生日は何の日なのか調べるもよし。楽しみ方は自由です。



「百姓貴族１～４」
荒川　弘／作　新書館（７２６／Ｋ）〔マンガ〕
「鋼の錬金術師」や「銀の匙」などで有名な漫画家　荒川弘さん。マンガ家になる前は、実家の農業を手伝っていました。牛を飼い、野菜を作り、クマに怯え、エゾシマリスに翻弄される、一年中無休で働き、切ない想いも多々あるハードなお仕事。「水がなければ牛乳を飲めばいいのに」　なんたって“百姓貴族”ですから!!　知られざる農家の実態を描いた、農業コミックエッセイ。＊ちなみに荒川弘さんは女性です。



「翻訳できない世界のことば」
エラ・フランシス・サンダース／作　創元社（８０４／Ｓ）
外国語のなかには、他の国の言葉に訳すときに一言では言い表せないようなその国独特の言葉が存在します。たとえば、日本語の「わびさび」とか。そんな「翻訳できない言葉」を世界中から集め、作者のエラさんの感性豊かな解説とおしゃれなイラストでまとめた単語集。絵本や画集みたいにぱらぱらっとめくってみるだけでもすてきです。



「蜜蜂と遠雷」恩田陸／著　幻冬舎（９１３／Ｏ）
２０１６年直木賞、２０１７年本屋大賞Ｗ受賞作。
総ページ数　５０６ページ。分厚いです。その分厚さに拒否感を感じる人もいるかと思います。でも読み始めると先が気になって止まりません！　音楽が好きな人にもお勧めできる一冊です。
ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、そして音楽を描き切った青春群像小説。

「さよなら妖精」米澤穂信　東京創元社（９１３／Ｙ）
いちばん最初に出版されたのは２００４年。古い小説ですが、いま読んでも古さを感じません。むしろ、いま読んで欲しい。
「古典部」シリーズなどで人気の作者の初期の代表作。雨宿りをするひとりの少女との偶然の出会いが、謎に満ちた日々への扉を開きます。遠い国からやって来た少女、マーヤ。彼女と過ごす、謎に満ちた日常。そして彼女が帰国した後、最大の謎解きが始まるのです。

